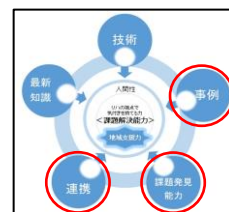


コミュニケーション支援コース(定員30名)

神経難病や重度障害を抱えていてもパソコンやタブレットなどのIT機器、様々な入力スイッチを使用することで、コミュニケーションを取ることが可能です。

また、それらを用いることにより、仕事の継続や余暇時間を充実させることができます。最近では子どもの反応を確認したり、発達を促すことに活用されている例もあります。

研修ではIT機器や入力スイッチ等を用いたコミュニケーション支援について学び、各支援者が実践と結び付けることを目的とします。(南部健康福祉事務所と共催です。)



【会 場】草津市立市民交流プラザ（フェリエ南草津）5F 大会議室

日	時	内 容	講 師	
令和5年 9月9日(土) 14:00~16:00 (受付 13:45~)	『 神経難病患者・重度障害をもった方等への コミュニケーション支援 』			
	「コミュニケーション支援とは？」		NPO 法人 滋賀県社会就労事業振興センター 松下 佑太 氏	
	事例紹介① 「神経難病患者さんへの支援」	滋賀県済生会訪問看護ステーション (作業療法士) 今井 真梨子 氏 (理学療法士) 竹澤 翔太 氏		
	事例紹介② 「障害を抱える子どもさんへの支援」	オリーブ訪問看護ステーション (理学療法士) 高木 篤 氏		
	体験会 <u>視線入力スイッチ、ピックスイッチ等を使用して、 実際にiPadやパソコンを操作してみる体験</u> をしていただけます			

●対 象 者：難病患者の方、障害児者の方を支援されている
医療・介護・障害・学校・就労支援機関等の方 ※職種は問いません

●申込締切り：令和5年9月1日(金)まで 【先着順】

★申込方法：下記URL または QR コードから受付フォームにアクセスし、必要事項の入力をお願いします。

URL：https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/9-9

【QR コード】



※日本作業療法士協会生涯教育制度(1ポイント)

※日本理学療法士協会登録理学療法士更新(2ポイント)

担当：押谷